

## 委員からの御意見・御提言

(2019年度盛岡広域振興局主要施策の推進状況及び来年度の取組方向について)

〔「地域振興プラン」における重点施策項目順〕

	重点施策	委員氏名	御意見・御提言	回答担当
1	1-(1) 保健福祉	臼井 名津子委員	児童、生徒の肥満が増加傾向にある具体的な原因は何にあるのか、管内での調査はされているのか。	保健福祉環境部
2	1-(1) 保健福祉	臼井 名津子委員	子供に対する支援の中で、中学生に対して、どの高校にどの大学の推薦枠があるとか特待生制度など費用がかからずに進学しやすいなどの情報を与えることも、進学する機会を増やす一助になると思う。 高校では何をやりたいかだけではなく、その先に何をやりたいか、そのためにはどの高校を選択するかという方法もあっていいのではないか。	保健福祉環境部 教育事務所
3	1-(1) 保健福祉	工藤 朋委員	人口の自然増を増やすためには出生率を上げていく必要はあるが、子供を持たないという選択も許されなければいけないので、目標とする平均出生率を達成するための子供を持つ家族世帯の構成をどのように考えているかを知りたい。 子供を産み育てたい人が希望するだけ子供を産み育てられる環境整備があると良いのではないか。第3子、第4子を持つ家庭への子育て支援についてどのように考えられているか知りたい。	保健福祉環境部
4	1-(1) 保健福祉	平野 順子委員	最近、民間企業などの組織に所属している方から、主に精神的な障害や疾患の可能性が感じられる職員に対する対処の相談が増えているように感じている。生活困窮者の中にもそのような方の割合が多いというデータもあるようだ。 生きにくさを感じて職員が社会から離れてしまう前に、どこに相談をすれば良いかなど、早期の対処の仕方を組織に広く周知する必要があるように考えている。	保健福祉環境部
5	2 環境	八重畑 祐見子委員	環境学習を支援する人材育成は大切だと思う。「りば〜るくんの郷づくりパートナー」に認定された方や今までスキルを持っている方を、どこに依頼すればいいか、誰を派遣すればいいかなど、組織づくりが必要ではないか。活躍するフィールドの確保も必要ではないか。	保健福祉環境部
6	2 環境	八重畑 祐見子委員	パートナーの研修には大学生や教員なども参加できる日程を設定してはどうか。	保健福祉環境部
7	2 環境	八重畑 祐見子委員	多くの子供たちに豊かな自然について理解を深めるには、教育現場との連携があれば良いと思う。	保健福祉環境部
8	3 地域づくり	臼井 名津子委員	地域コミュニティの課題解決のために、年1回の研修会以外に何か取り組みは実施しないのか。	経営企画部

	重点施策	委員氏名	御意見・御提言	回答担当
9	3 地域づくり	工藤 朋委員	地域コミュニティ活動に関する意識の普及啓発や担い手の育成確保とあるが、具体的な計画があればお伺いしたい。 近年、盛岡地域では復興住宅が建設され、以前から住んでいる住民と新しく住み始めた住民が同じ地域コミュニティで暮らす例が出てきている。おそらく多くの課題が出てきていると思うが、このコミュニティでの取り組みは、他の既存の町内会などが抱える課題解決の良い事例になると考えている。	経営企画部
10	3 地域づくり	工藤 朋委員	先日開催された伝統工芸の全国大会は多くの来場者があったようなので、文化への関心は低くない地域だと思う。県民の生活の活力に、あるいは経済活動の活力となるような文化振興に期待したい。	経営企画部
11	3 地域づくり	水本 千恵子委員	女性を取り巻く環境として、かつてのしきたりの押し付けや男女差別はまだコミュニティの場にも残っている。 女性のみが加入する仕組みになっている「交通安全母の会」「婦人消防協力会」「母親委員会」「母親クラブ」等々の活動や自治会では女性部、婦人部など女性を特定する部会があり、仕事内容も飲食の準備や平日の活動など、働いていたり子育て中の女性には負担のかかるものが多くある。一部では、廃止されたり見直しもされているようだが、まだまだ住民の中にも理解されていない状況は多々ある。自治会役員や行政区長などは高齢の男性が多く、そういった方々が物事を決め、女性が活動を支える構図が残されている。 今は、男性が働き、女性が家庭を守る時代ではなく、両者で社会と家庭を支える時代なので、こういった性別を特定する団体ではなく、目的を解決するために男女が知恵を出していく組織になるよう、ますますの啓発をお願いします。	経営企画部
12	3 地域づくり	八重畑 祐見子委員	ILCの意識啓発に力を入れる様ですが、いろいろなリスク、自然への影響や研究終了後の地下空間をどの様にするのか、工事による土砂や粉じん問題などについての説明もしてほしい。	経営企画部
13	6 ものづくり 10 産業人材の確保	工藤 朋委員	中小企業の生産性の低さが課題になっているが、自分の会社しか知らない企業は自社の生産性を相対的に評価できないために、現状が自社の限界だと思っている。あるいは大企業でないから設備投資もできずに生産性向上は難しいと考えている。 業種によってさまざまだと思うが、客観的な県としての評価指標や目標を提示することはできないか。	経営企画部
14	6 ものづくり	水本 孝委員	「施策展開の方向性」に国内外企業の誘致を追加してほしい。	経営企画部
15	7-(1) 観光産業	水本 孝委員	「具体的な取組や事業内容」にヘルスアップの視点を追加して「食・体験・文化・スポーツなど」に「健康」を盛り込んでほしい。	経営企画部
16	7-(2) 食産業	工藤 朋委員	食産業の振興にあたって、外食の文化は非常に重要だと考えている。観光客も特にインバウンドのお客様を中心に夕食はホテルで取らず地域でとる。ある意味外食産業で働く人は地域の観光においては「顔」といい。食産業で働く人たちが誇りと自信をもって働ける環境整備が必要ではないか。 最低賃金の向上、社会的地位の向上を目指して、大学に「食」を文化の面から、また工学的なあるいは職人的な技術の面から学ぶことができる学科を設立するよう後押しできないか。 ヨーロッパのソムリエや、シェフのような人たちが岩手県中央地域に増えるような施策を考えたい。	経営企画部

	重点施策	委員氏名	御意見・御提言	回答担当
17	8 農業 2 環境	菅原 紋子委員	農業も環境保全に関係する職業で、生産者を巻き込んで農業体験など学べる場所を増やしてもいいと思う。 鳥獣被害が増えている中、希少動物だけでなく、熊や猪などの動物、生態系について考えるイベントなどの企画を考えてはどうか。	農政部 保健福祉環境部
18	8 農業	菅原 紋子委員	銀河のしずくについて、産地が県内全域に拡大予定のようだが、ある程度品質を安定させるために産地は絞った方がいいのではないかと思う。内陸、沿岸、県北、県央、県南と地域がさまざまで、気候も土も違えば品質を保つのは難しいと感じる。栽培適地だから要件を満たしているからというだけで産地を拡大していくのは、品質に差が出てきてしまうのではないかと感じる。岩手県のブランド米として高い評価を得ているからこそ、ある程度地域を絞り、高品質なお米を生産していくべきと考える。	農政部
19	8 農業	菅原 紋子委員	銀河のしずくについて、県で主催するPRイベント等に生産者も参加すべき。JAだけでなく、JAに出荷している生産者の方、農業法人や個人で生産している人もいるので広く声をかけてみてはどうか。	農政部
20	9 林業	水本 孝委員	【地域材の利用促進】の「施策展開の方向性」に 4 搬出コスト削減(高規格路網整備の推進) 5 再生可能エネルギー(水素・木質バイオマス発電への林業資源の活用検討) の取組を追加して欲しい。	林務部
21	10 産業人材の 確保	臼井 名津子委員	農業や建設など、土日や長期休暇を利用した高校生のアルバイトを許可してはどうだろうか(アルバイト不可の学校で)。	教育事務所
22	10 産業人材の 確保	平野 順子委員	地域の企業を知る機会を作る取り組みはぜひ進めてほしい。特に、高校生以上については、ただ知るだけではなく、その企業で自分が働いている姿がイメージできるような工夫をしていただけることを期待したい。	経営企画部
23	10 産業人材の 確保	水本 孝委員	「施策展開の方向性」に ・県外からの若者定住促進(魅力的なUIJターンの推進と支援) ・外国人労働者受け入れ拡大 を追加してほしい。	経営企画部
24	その他	八重畑 祐見子委員	幸福度調査について、何年かアンケートを続けるのか等知りたい。	経営企画部
25	その他	八重畑 祐見子委員	災害が繰り返される様な地球環境を変えるのは難しいので、財源を確保していく必要があると思う。 三陸鉄道がなかなか復旧しないのはなぜか。	経営企画部

※ いただいたご意見等は、口調を揃えるなど、一部手を加えさせていただいております。